

# 令和元年（平成31年）度 第3回 消費生活モニターアンケート集計

## 1 調査趣旨

### ◎暮らし向きについて

令和2年2月の月例経済報告（内閣府）では、「景気は、緩やかに回復している。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、通商問題を巡る動向等の世界経済の動向や金融資本市場の変動の影響にも留意する必要がある」としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

### ◎食品ロスに関する意識調査

日本では、年間約2,759万トンの食品が廃棄されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（いわゆる「食品ロス」）は、年間約643万トン※といわれています。この食品ロスのうちの約45%は家庭から排出されており、1人あたりの食品ロス量は、1日約139g（茶碗約1杯のご飯の量）と試算されています。現在の日本では、食べ物が豊富にあることが当たり前となっており、「もったいない」というモノを大切にする意識が薄れているように思われます。そこで、「食品」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

※…平成28年度推計値

## 2 調査事項

「暮らし向きについて」、「食品ロスに関する意識調査」

- |           |                |     |
|-----------|----------------|-----|
| 3 調査対象    | 平成31年度消費生活モニター | 21名 |
| 4 調査方法    | 郵送または電子メールによる  |     |
| 5 回答数・回答率 | 21通・100%       |     |

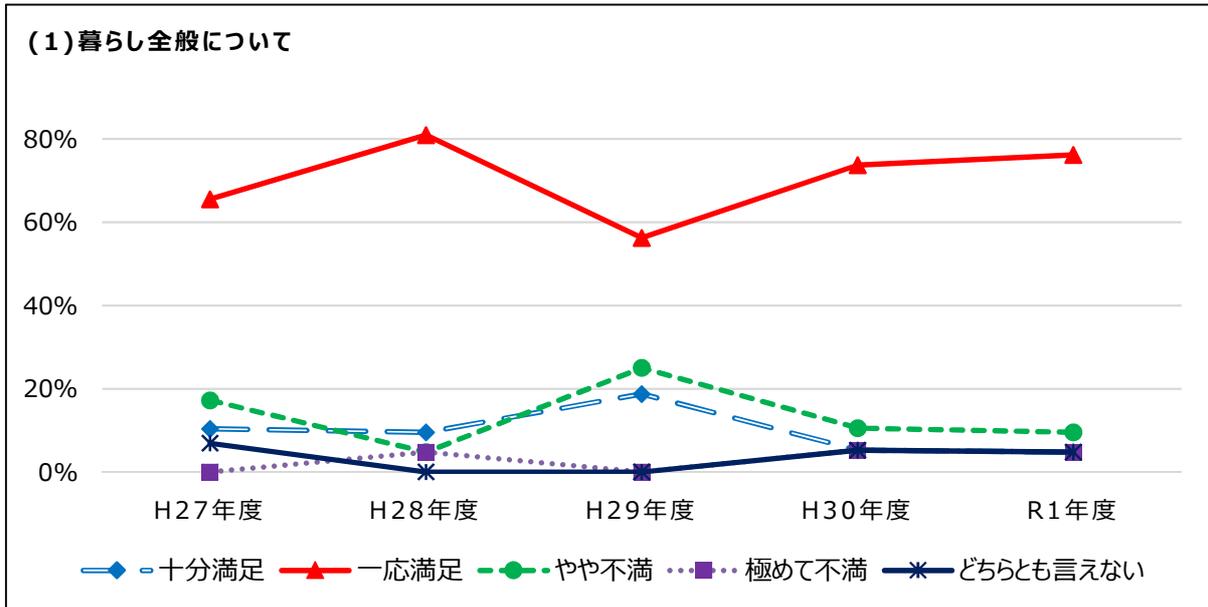
●集計結果について、四捨五入の結果によって合計が100%とならない場合がございます。

●回答は一部抜粋。

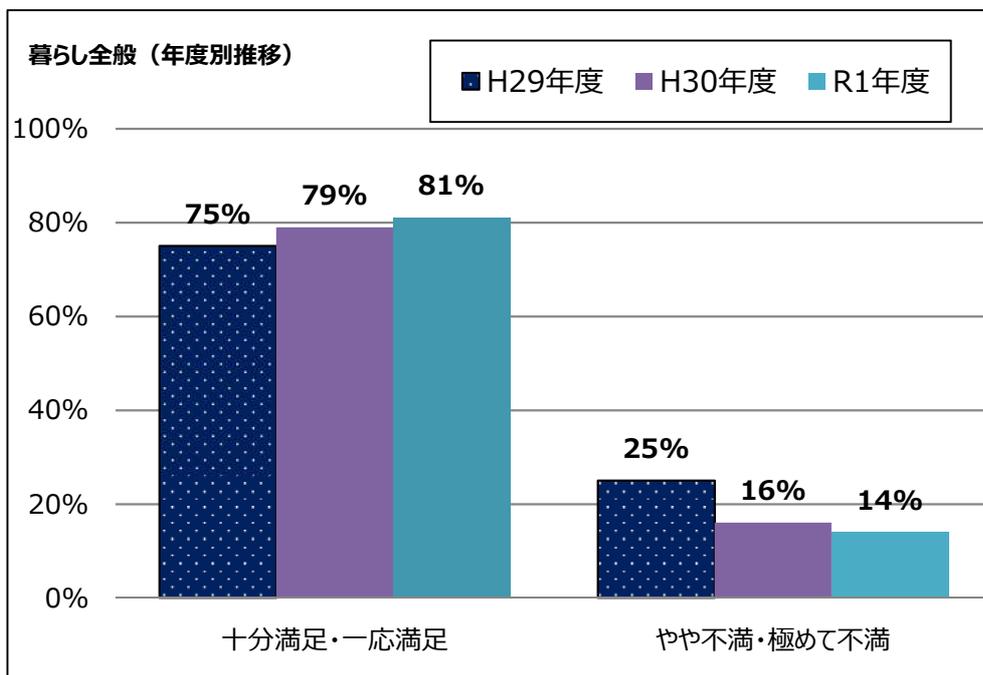


## 暮らし向きについて

問1 あなたの家庭の暮らし向きについてお伺いします。(1)暮らし全般について(2)衣生活について(3)食生活について(4)住生活について(5)レジャー・余暇の生活について

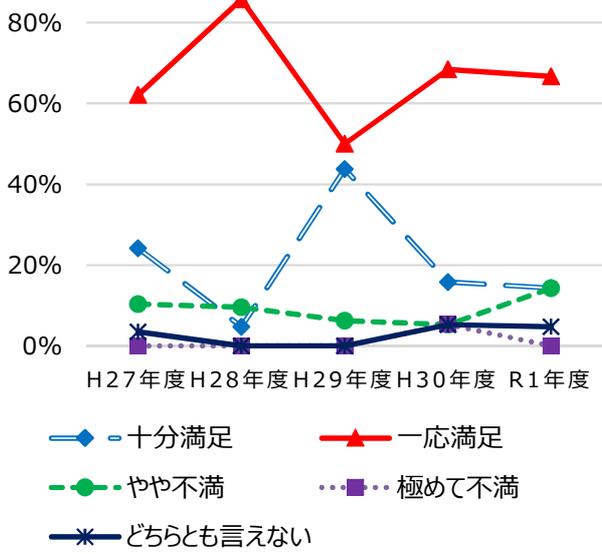


★ 暮らし全般については、『一応満足している』が昨年より増加し、『十分満足』『やや不満』『極めて不満』の回答がやや減少しています。

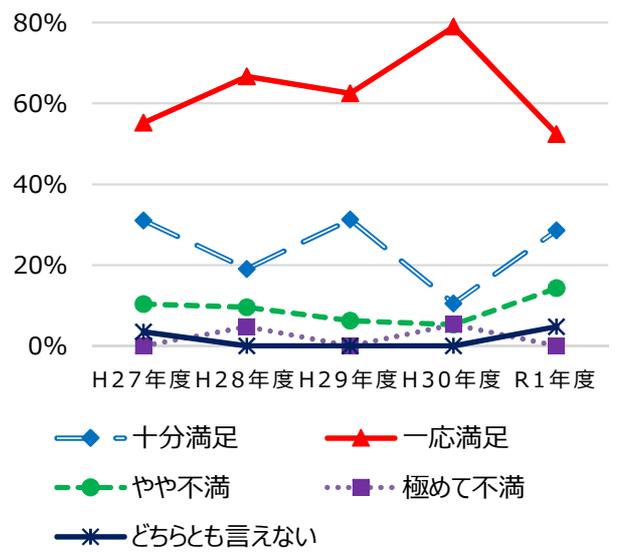


また、暮らし全般の満足度について、令和1年度は『十分満足・一応満足』の割合がやや増加し、『やや不満・極めて不満』の割合は減少しています。

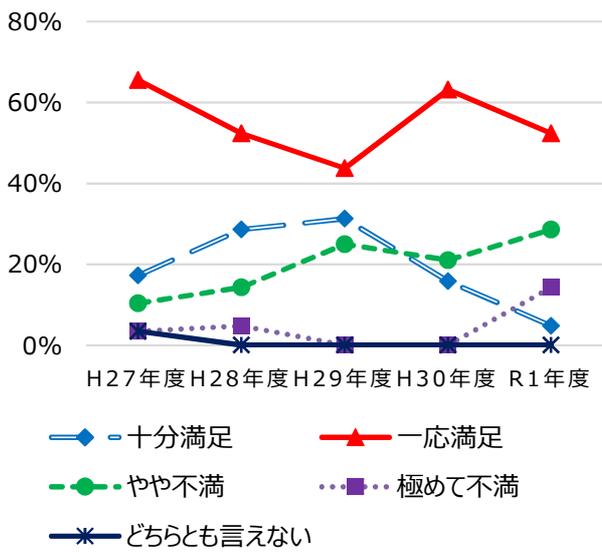
(2)衣生活について



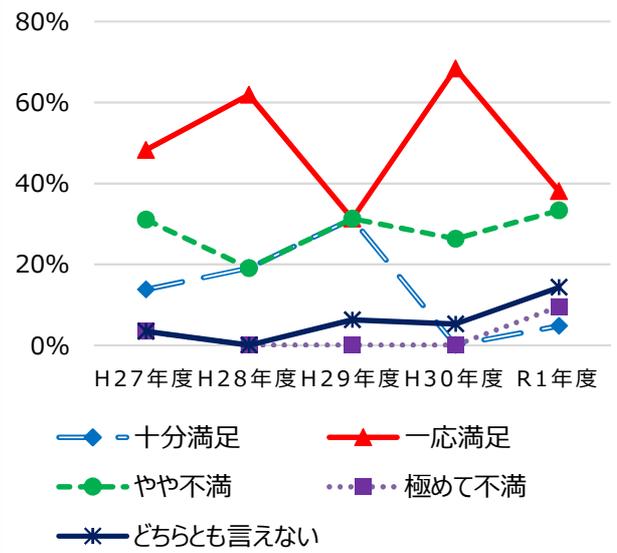
(3)食生活について



(4)住生活について



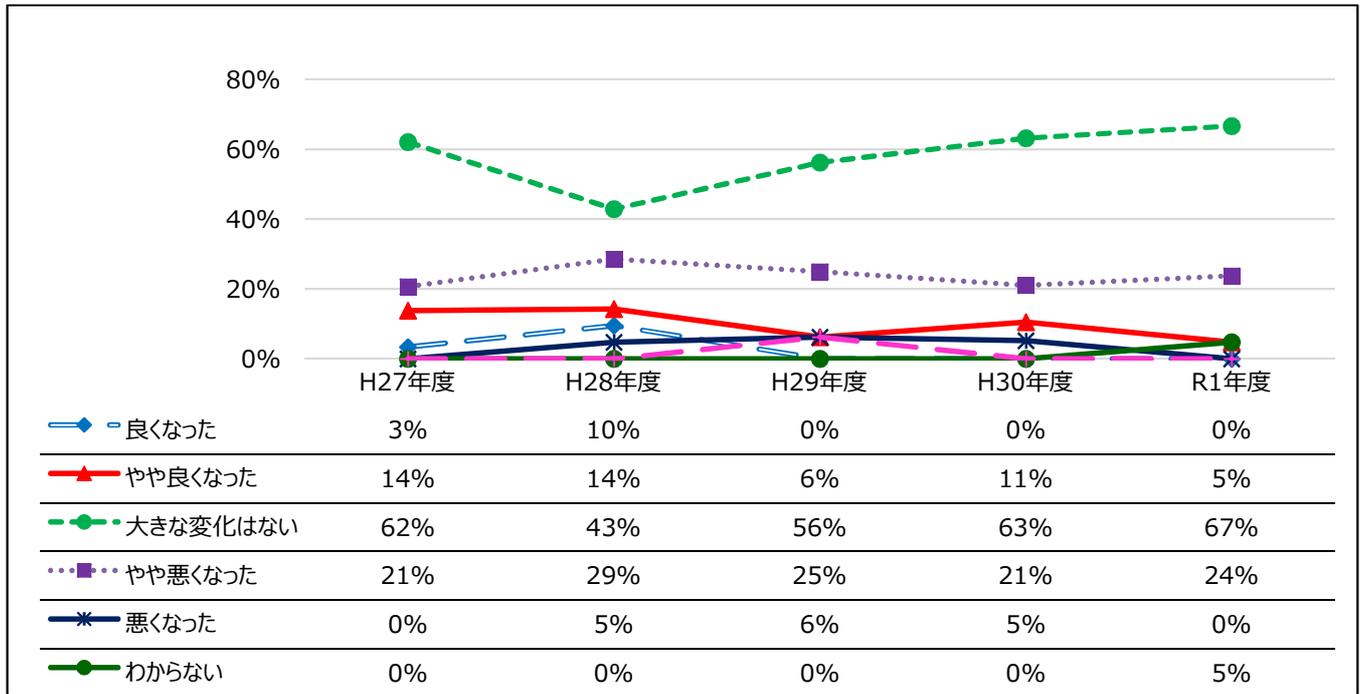
(5)レジャー・余暇について



★ 食生活、レジャー・余暇について「十分満足」と回答した方は昨年よりも上昇し、全ての項目で「一応満足」と回答した方が昨年よりも減少しました。



問2 あなたの家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、67%となりました。「やや良くなった」と回答した方は6ポイント減少し、「やや悪くなった」と回答した方は3ポイント増加しました。

《具体的な理由》

やや良くなった

- 年金支給が始まった。

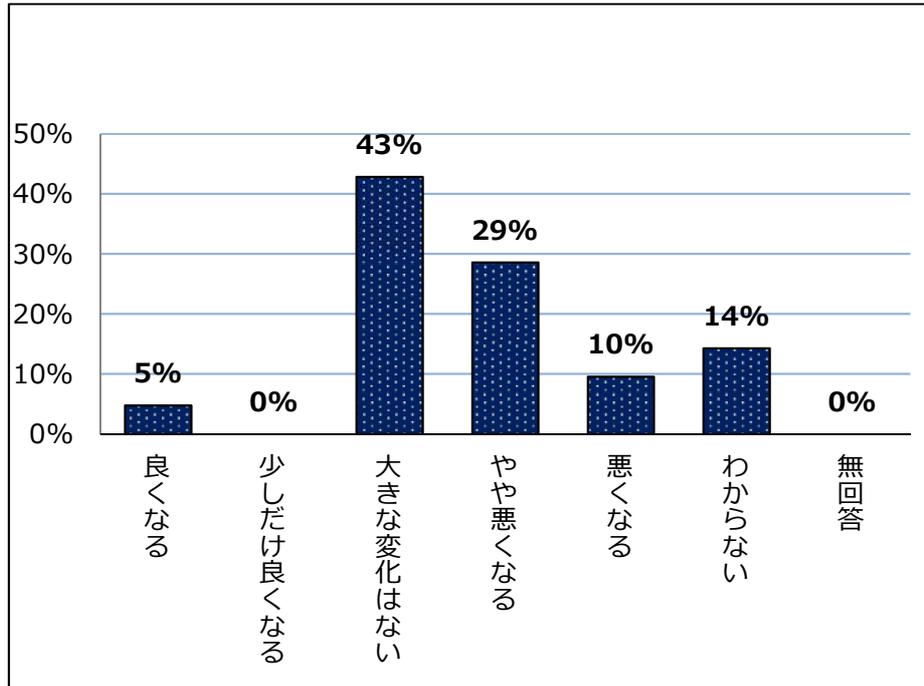
大きな変化はない

- 特別に収入が増えたわけではない。出費も変化なしなので。
- 入院等もなく一応平穏に暮らせている。
- 特に家族の状況なども変化が無いので。
- 年金生活も収入は一定で生活パターンも大きな変化はない。

やや悪くなった

- 食費や光熱費交通費の上昇が著明になり消費税が10%になってから暮らし向きは厳しくなり、買い控えの傾向になった。
- 個人的年金の一つが終了となり収入が減った。
- 残業代が出なくなった分収入が減った。

問3 あなたの家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

良くなる

- ・良くなるとしたいです。これからの年齢を考えると住みやすい家に建替えできればと思っています。

大きな変化はない

- ・来年も今年同様の暮らしの連続のような気がする。行事予定も今のところないので。
- ・大災害等がおきない限りは現状維持だと思います。
- ・年金生活で収入が変わらないため物価の変化次第で違う。

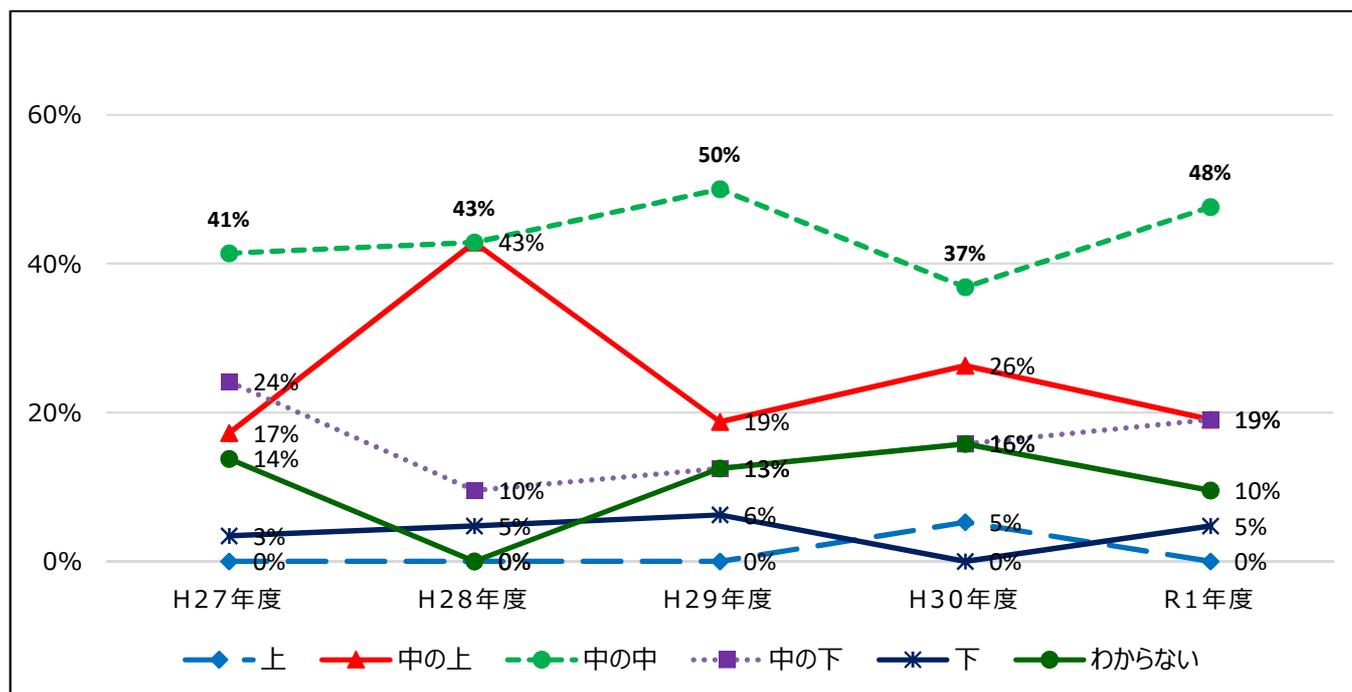
やや悪くなる

- ・2020年～景気が後退する推測からイメージします。
- ・物価が少しずつ上がっていくような気がする。
- ・高齢化に伴い健康面の心配が顕在化してくると思います。
- ・世帯主の勤務先が社員削減給与減額の方針を出しているから。

悪くなる

- ・年金生活になると苦しくなります。
- ・給料もあまり上がらず物価は上り買物をするものは減らないため家計を苦しめる。医療費も上がり出費は多い。高齢になると医療にかかる回数が増える。福祉は子どもの未来に対し力を入れているように見えるが反面高齢者には力を入れなくなった。

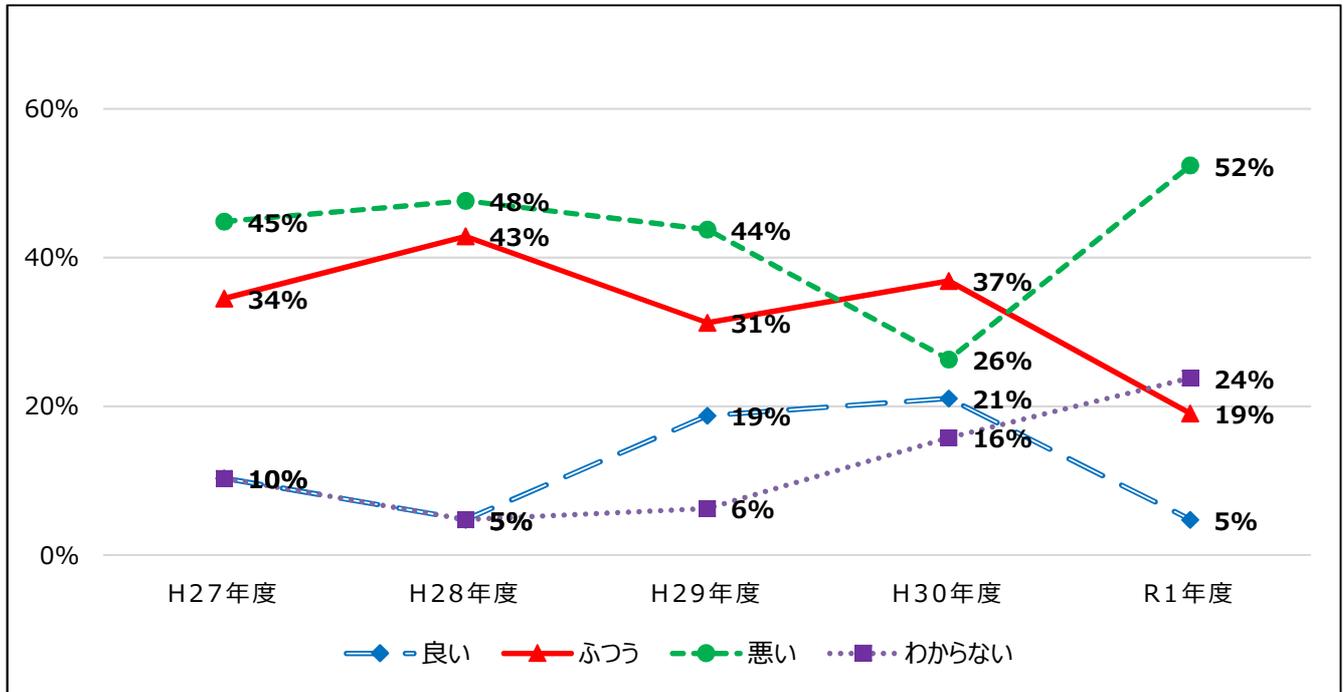
問4 あなたの生活水準は世間一般から見て、どこに当たると思われますか？



★ 「中の中」と感じる方が最も多く、48%の方がそう感じています。「中の上」と感じる方は昨年よりも減少しています。



問5 現在、あなたは景気についてどの様に感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前は26%でしたが、今回は52%に増加しました。また、「ふつう」と感じる方が、前は37%でしたが、今回は19%に減少しています。「良い」と感じる方は、前の21%から5%に減少しました。

《具体的な理由》

良い

- 日本は他国に比べて物価も安定していると思います。

ふつう

- バブルの時のような景気の良さでもなく、リーマンショック後のような不景気でもなく、「ふつう」に感じている。
- 収入や仕事の面で大きな景気悪化を感じていない。

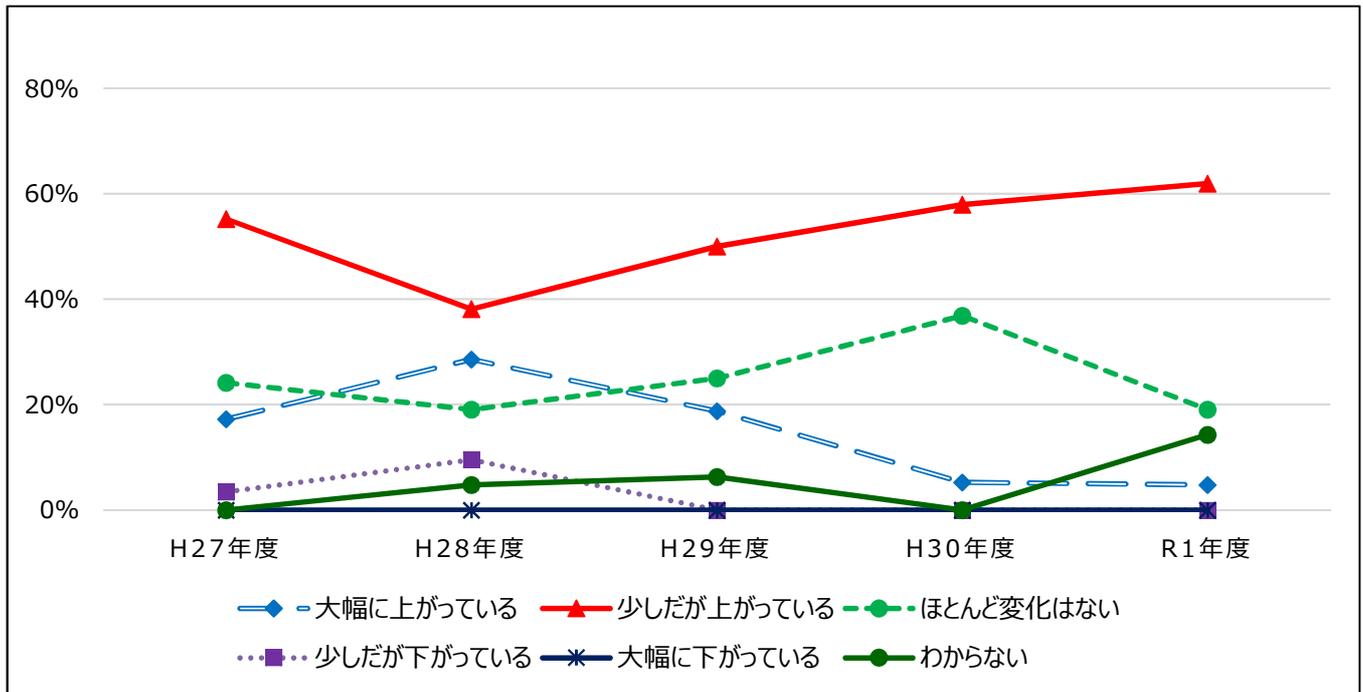
悪い

- 観光地など日本人がいらない。旅行を楽しむ余裕もない。
- 近所の店が次々と閉店になっていく。
- 年金受給者が増え、節約傾向が強いから。

わからない

- 収入の範囲で分相応に暮らしているため。
- 一部の富裕層は持っているものをさらに増やしているが、そうでない大多数は貧しくなっているから。

問6 あなたが日常生活を送る上で、物価について、昨今の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、「少しだが上がっている」「わからない」と感じている方がそれぞれ上昇し、「ほとんど変化はない」と答えた方は減少しています。

《具体的な理由》

大幅に上がっている

- ・消費税が上がり、すべての家計に影響しています。

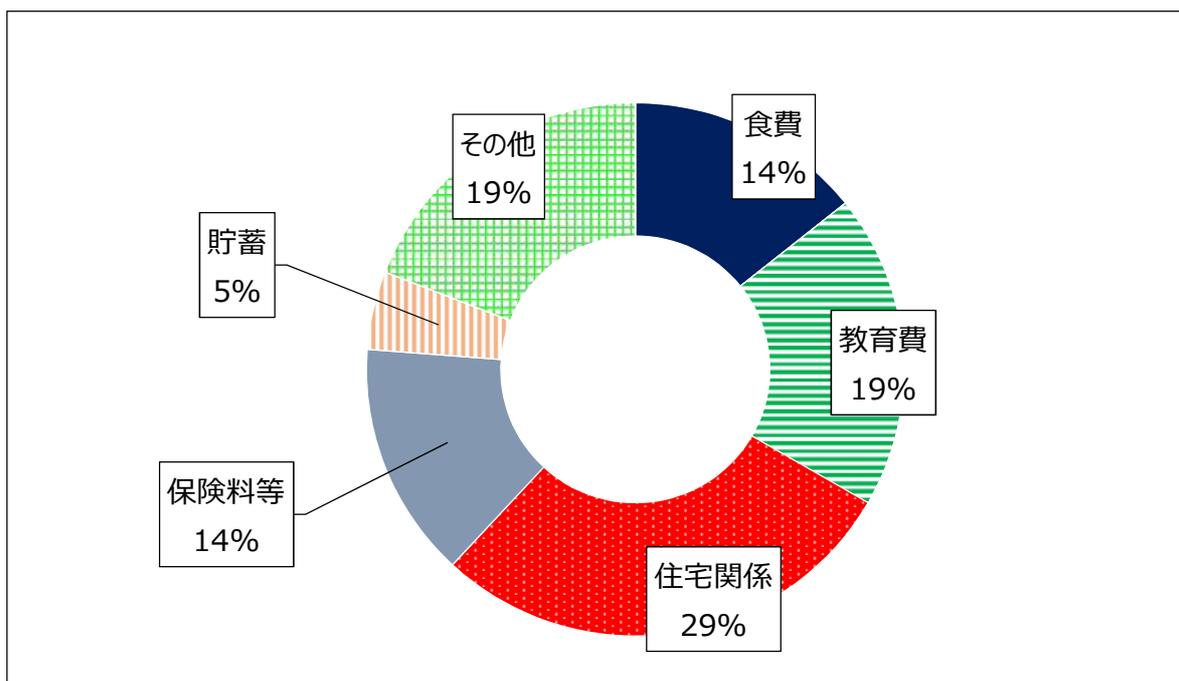
少しだが上がっている

- ・毎日スーパーに行くが少しずつ値段が上がっている。
- ・子供の習い事の月謝が値上がりした。
- ・外食のメニューの単価が上がっていると思うことがある。
- ・食品以外の物に関して割高に感じる（消費税の影響）。
- ・物流や人件費などのコストが商品に反映されている。

わからない

- ・本音で言うと良くわかりません。
- ・物価は時々が変わるので、コンスタントな動きは1年間という単位で考えると何とも言いえない。

問7 あなたが日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



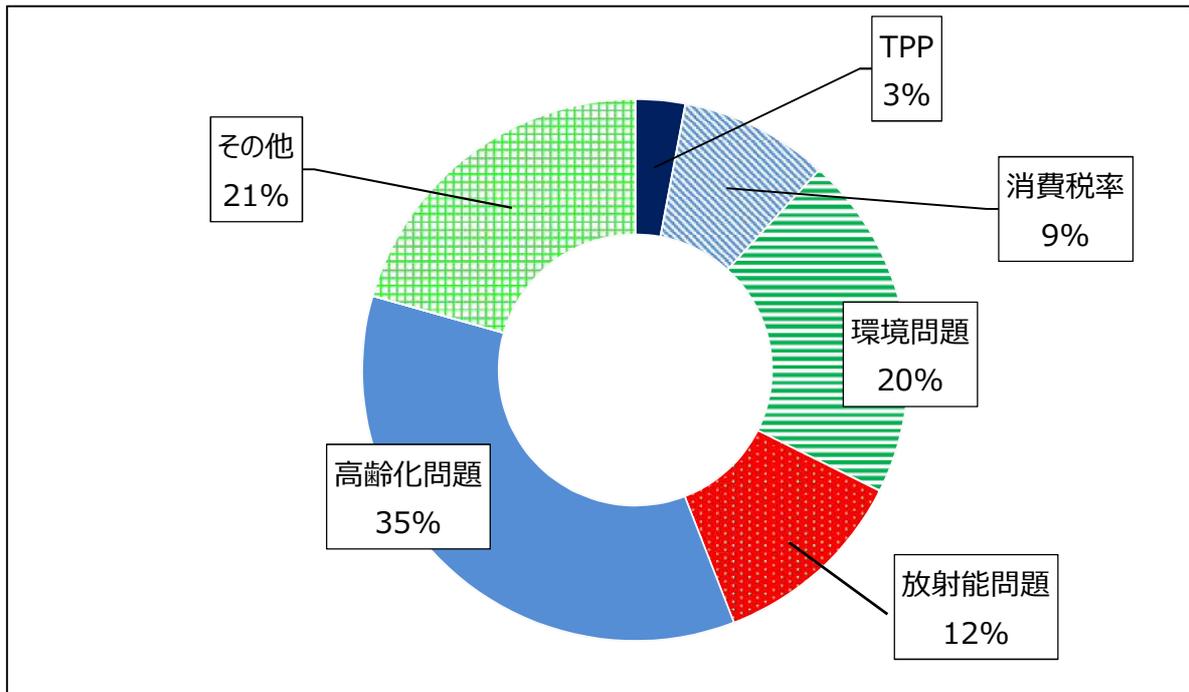
	第1位		第2位		第3位	
平成27年度	食費	26%	住宅関係	23%	その他	19%
平成28年度	住宅関係	29%	食費	19%	保険料等	19%
平成29年度	食費	31%	住宅関係/貯蓄/その他		19%	
平成30年度	食費/教育費		26%		住宅関係	16%
令和1年度	住宅関係	29%	教育費/その他	19%	食費/保険料等	14%

★ 第1位が「住宅関係」の29%で、第2位が「教育費」「その他」、第3位が「食費」「保険料等」で同順位となりました。

《その他・補足》

- ・(住宅関係) 家が古くなりますと修理のお金がかかります。
- ・(住宅関係) リフォーム費用が大きい。
- ・(保険料等) お給料からの控除が多い。
- ・(その他) 交通費の支出もバカにならない。
- ・(その他) 医療費。高齢になり、医者に行く事が増えてしまった。

問8 あなたが、暮らしの中で不安に思うことはありますか？



★ 「高齢化問題」、「その他」、「環境問題」、「放射能問題」、「消費税率」、「TPP」の順となりました。  
《補足意見》

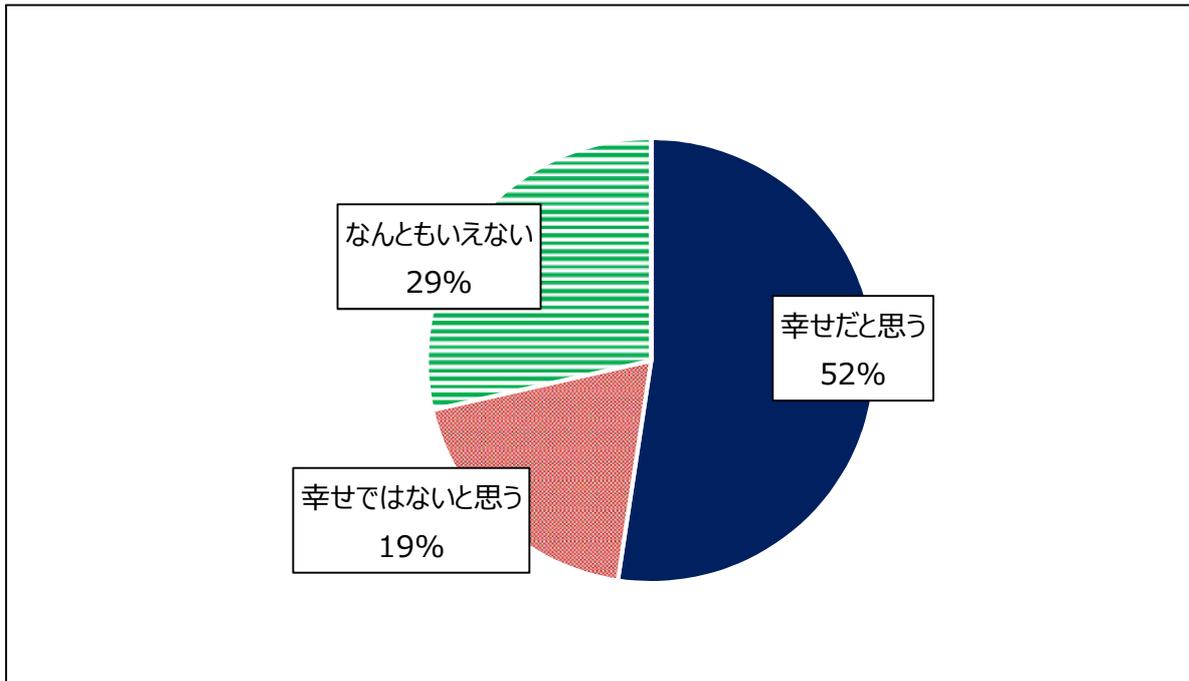
- ・(高齢化問題) 高齢者の介護などが続くとゆっくりと休息がとれない。その日々が続くと気が重くなる。気分転換が難しい。自分は健康で暮らせるように準備していきたい。
- ・(高齢化問題) 年金を受給するまでは働かなくては生活が維持できず、貯蓄にはいくらかも回すことが出来ない。我家だけでなく、ゆとりのない世帯が医療を諦めたり、孤独に悩む人が増えると予想される。
- ・(環境問題/放射能問題) 新型肺炎が蔓延するのではないかと不安。3・11以来、放射能問題は解決していないような気がする。食品、空気にも影響は出ていないのだろうか。原発再稼働と聞くと地震国なので不安です。
- ・(環境問題/高齢化問題) すぐ温暖化対策をしないと、台風、乾燥化等で多くの災害が発生する。若者が保険の負担が多くなり、心配である。
- ・(環境問題/放射能問題) 水問題。水源である山や山林を買っているらしいこと。今後水が自由に使えなくなるおそれがあるらしいこと。
- ・(その他) 日本の先行き(景気、経済、外国との関係)について。
- ・(その他) 教育問題。子供の学力、しつけ等。英語力とかプログラミング等で時間やエネルギー使うより、「人」としての基本をきちんとしつけるべき。

問9 あなたにとって「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしですか？

《自由意見》

- ・健康で食事がおいしく楽しめ、旅行する余裕がある。
- ・シンプルな生活を心がけているので周辺や空間にゆとりができます。日常の些末なことを丁寧に行うことで精神的にもゆとりある生活となります。
- ・何も心配や不安がない暮らし。先々考えるとあれこれ不安になってくる。
- ・自由とお金の両方に余裕のある生活。家族が健康で仕事や学校にふつうに通える生活。
- ・健康のために人と交流し、運動を習慣的に続けられ、毎週1回外出(趣味や習い事)、住まいの老朽化に心配のない暮らし。
- ・災害の被害者、海外の生活苦にあえぐ人々に物心両面で充分サポートできる状態。

## 問10 あなたは今、幸せだと感じていますか？



### 《具体的な理由》

#### 幸せだと思う

- 毎日健康で、自分の思うことが自分でできて、おいしい食事もできる。これは最高の幸せです。欲をいえばもう少し余裕があればなと思う。
- 家族がそばにいる。
- 家族全員が健康で、衣食住に困らず、趣味等に時間やお金をある程度ならかけられるから。
- 子供の教育を十分にすることができるため。
- 不満や不安はあるものの、家族は健康で毎日目的を持って暮らすことができている。親の老後の生活の金銭の負担はなく暮らせている。
- 無事に年金生活をむかえたから。

#### 幸せではないと思う

- 年をとったら少し楽をしたいと考えていたが、親が100才以上になり寝たきりになり、介護など時間が割かれ生活にゆとりがなくなった。家でみるのは大変だと思う。
- 常に何かをやりたいという気持ちはあっても、独身者、単身者のように思いのままにはいかない。家族への遠慮、気遣いがある。健康、お金があっても時間という余裕はないので。

#### なんともいえない

- 妻が病気を患い長期化する恐れもあり危惧している状態。
- 子供たちの成長はうれしいです。生活面は色々出費がありやりくりが…と思います。
- 年をとるにしたがって身体に自信がなくなる事が心配です。
- 今は家族全員健康に暮らしているが将来の子供たちのことを考えると不安になるから。

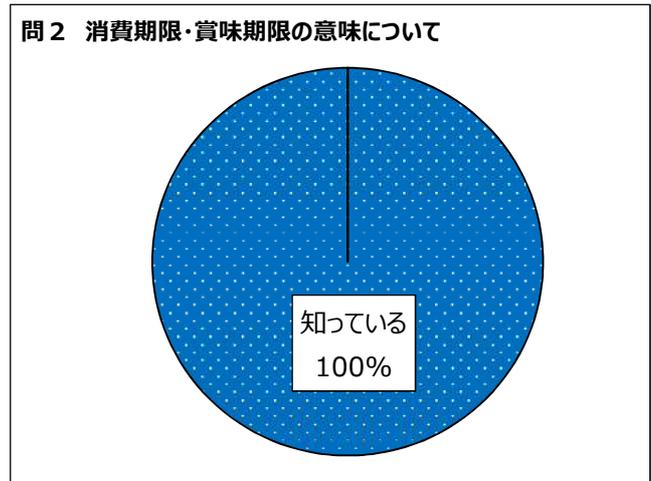
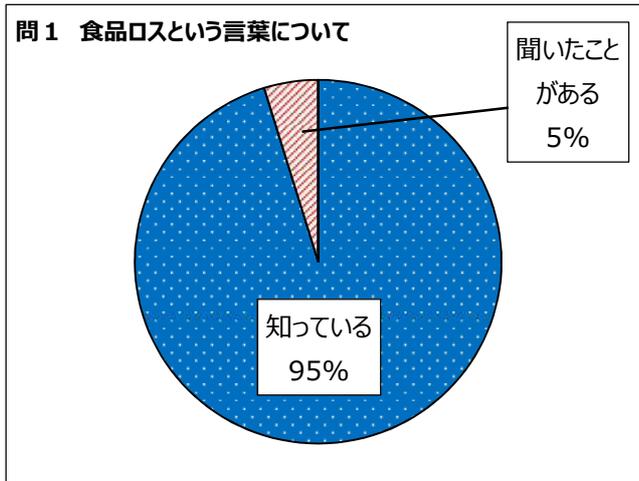
問11 消費税率が、令和元年10月から10%になりました。ご自分の生活にどのような変化がありましたか？

- 不要不急の高額商品は買うのを見合わせている。日常生活における物品の購入およびサービスの業務等あらゆるものに消費税と手数料の加算が見受けられる。飲食に関しては、確かにその影響を感じている。
- 生活費は食料品が中心なので、あまり影響がありません。しかし、物価が少しずつ上がっているのが心配です。
- 衣類等購入した時。支払い時に10%分の金額が思いのほか高いので驚いてしまう。軽減税率とかにもなりましたが、まだピンときません。10%になりましたが、しょうがないのでしょうか。
- 特別に大きな出費もなかったため、変化はなかった。高額な出費でもあれば痛みを感じたと思う。
- 食料品については同率なのであまり問題はないが、その他については少しずつ値上げが始まっているようだ。もっともお金が無いので買うことは少なくなった。
- ものを購入するとき、即決しないで1~2週間の時間経過後に購入することとした。
- 大きな変化はないものの、よくいわれるように外食は回数が減っていると思う。これからもその傾向は続くと思う。
- 節約しながら（多少）買い物したりしています。
- 今後、外壁等のリフォーム予定があり2%増は負担が大きいです。現状では特に感じません。
- 元々少し高いと感じていたベーカリーのパンを買う頻度が少なくなった。衝動買いをしていると手元の自由に使えるお金が不足し、節約を心がける必要に迫られている。交通費（タクシー含）が外出時に大きいと感じる。
- 家計簿を記帳する時、食費以外のものが10%になっているので増税を実感します。
- 節約を今まで以上に行うようになった。
- 食費はなるべく出来た食品を買わずに自分で作る事にしています。若い時は土地をかりて出来るだけ野菜を作りましたので、狭い庭ですが、トマト、キュウリ等葉物は作るようにしています。
- 買い物は控えている。今まで使っているものを大切に使っている。ムダを省く、外食は店内だと10%のため外で食べる機会が減った。
- 電化製品等の大きな買い物を控えることにした。通常の買い物もできるだけ節約し、出費を抑えるように、より努めるようになった。
- 消費税が8%→10%になる前に日用品等をいつもより少し多めに購入しましたが、10%に変わってもその分原価が値下げしている商品もあり、値下げ前と生活はあまり変化ありませんでした。
- 外食が減った。
- 支払い時に思ったより高額になり驚くことがある。
- 全く影響はない。

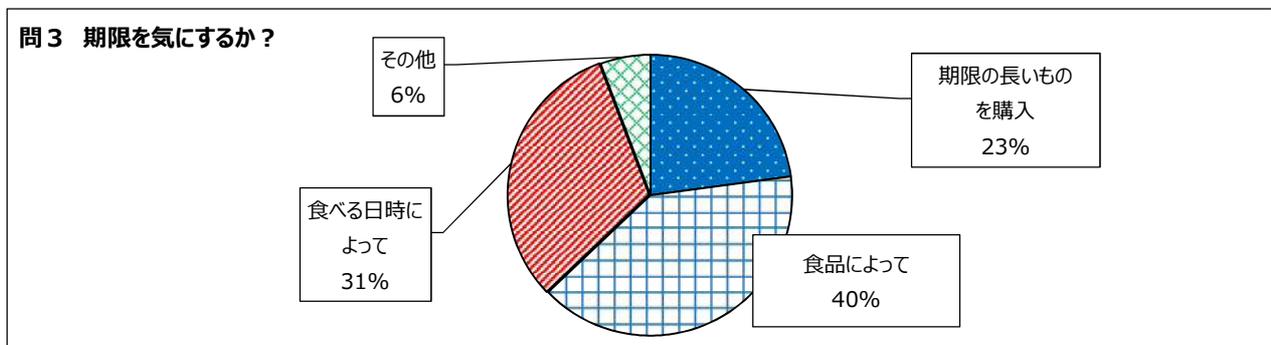
## 食品ロスに関する意識調査

問1 「食品ロス」という言葉を知っていますか？

問2 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていますか？



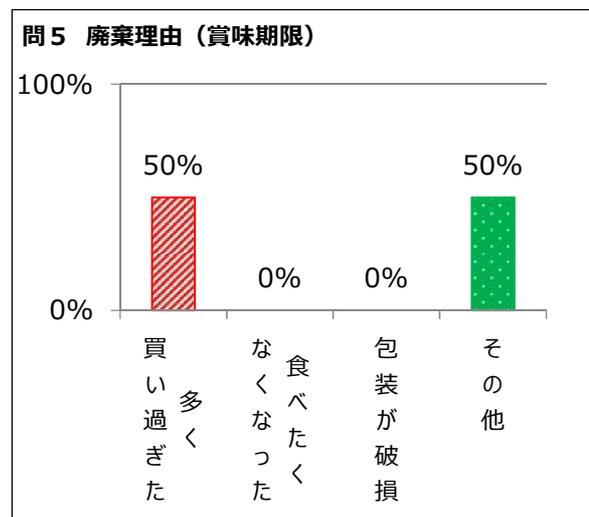
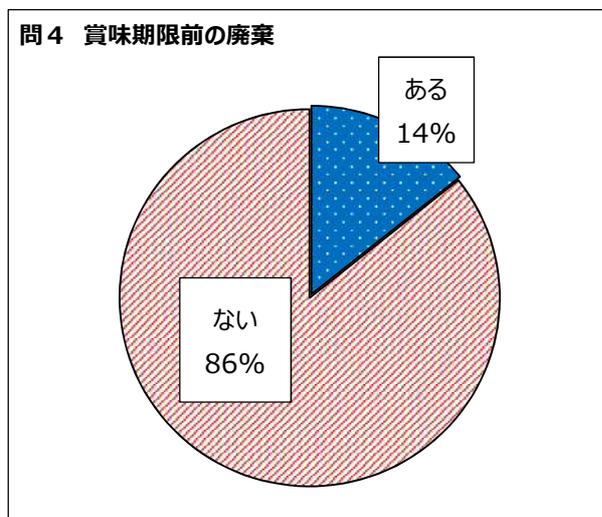
問3 買い物をするときに、期限を気にしますか？（複数回答可）



《補足意見》 期限がせまっている食品は割引されていることが多いので、よく利用しています（すぐ食べればお得でお店の廃棄減少に貢献できます）。

問4 賞味期限（おいしく食べることができる期限であり、期限をすぎてもすぐに食べられないということではない。主な食品は、カップ麺や缶詰など）前に、食品を廃棄したことがありますか？

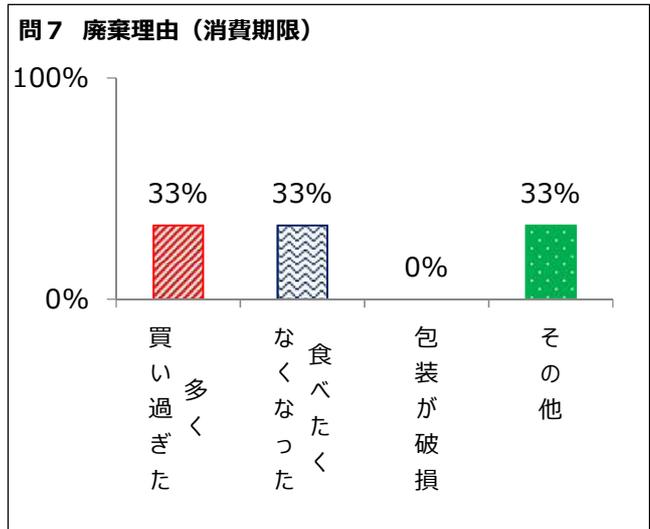
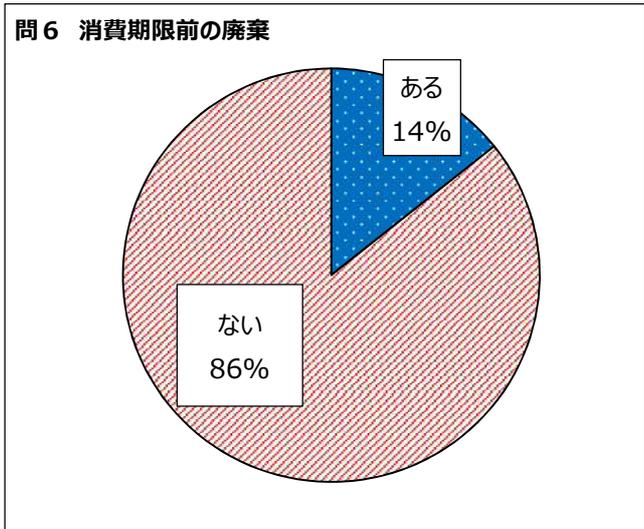
問5 賞味期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



《補足意見》

- ・品物が傷んでいる気がしたので。

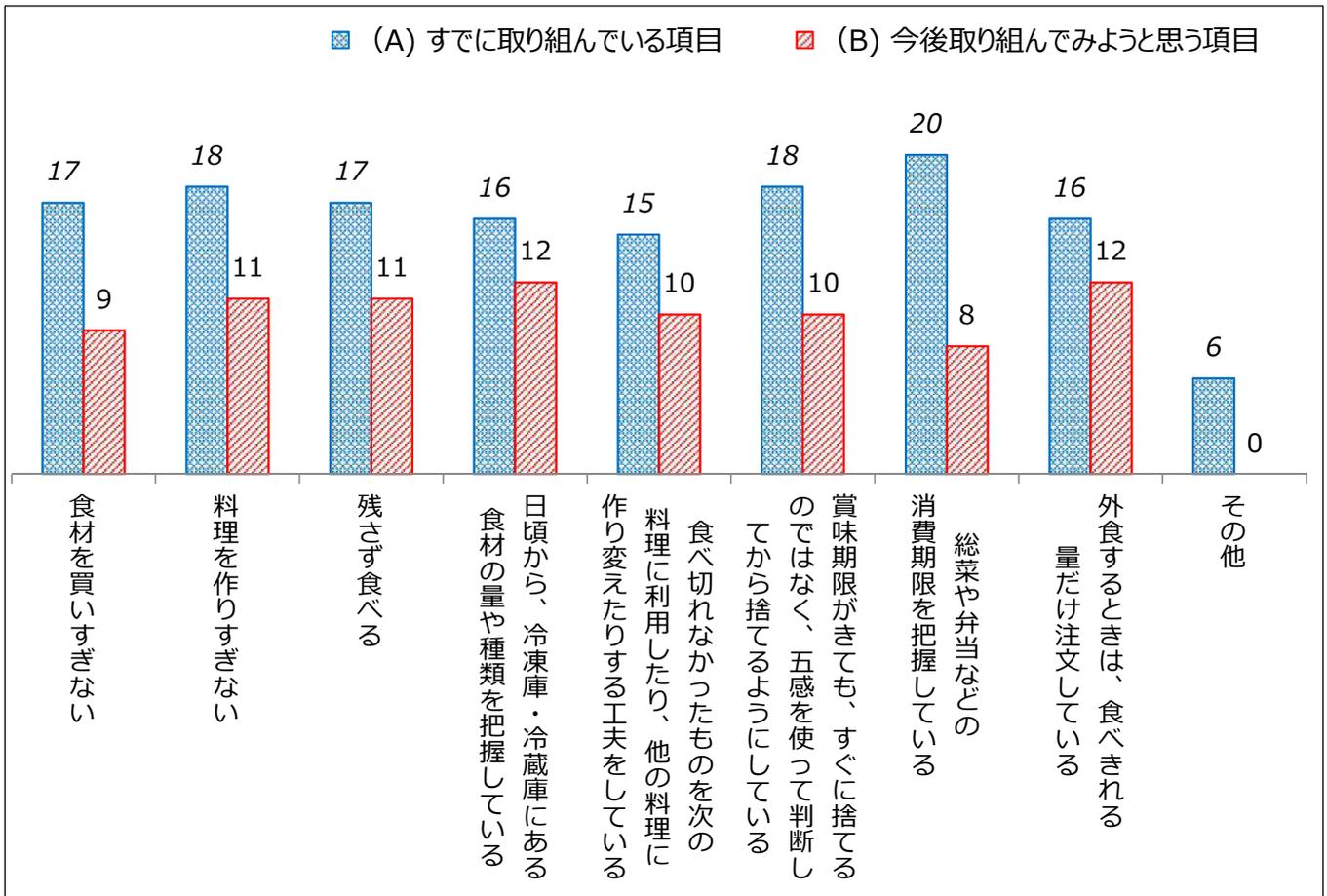
問6 消費期限（期限をすぎたら食べない方がいいもの。主な食品は、サンドイッチやお弁当など）前に、食品を廃棄したことがありますか？  
 問7 消費期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



《補足意見》

- ・冷蔵庫に入れておくべき商品を入れ忘れてしまった時。

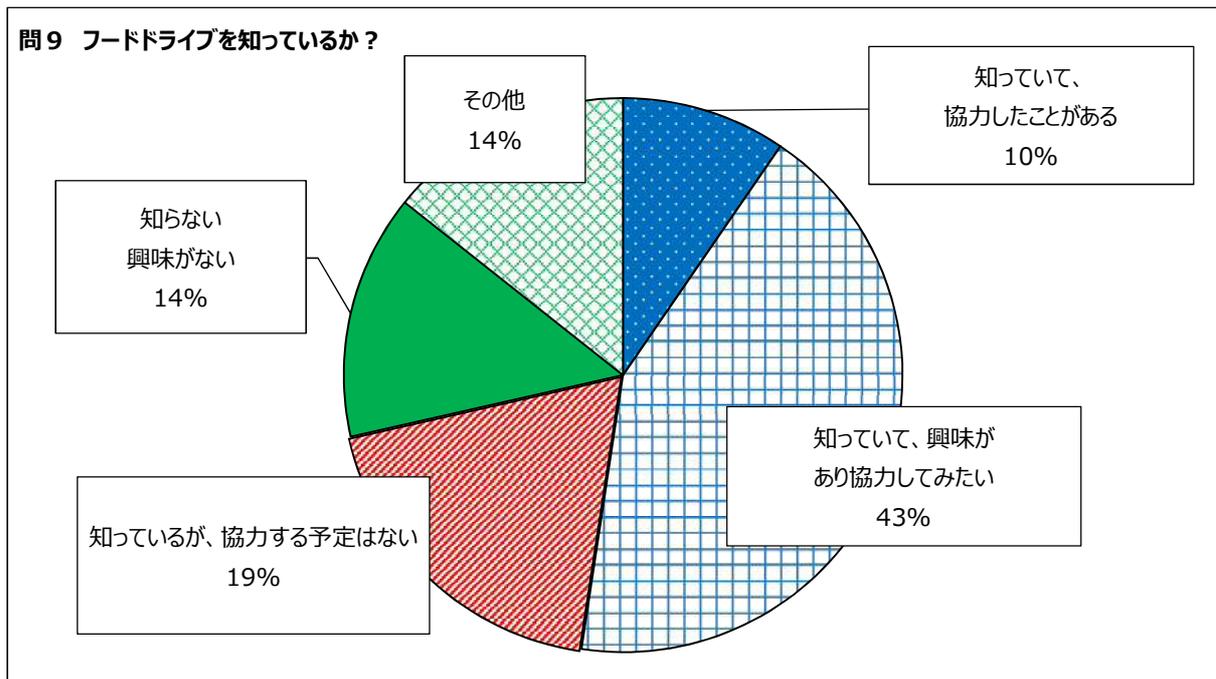
問8 次の項目で、A：すでに取り組んでいる項目はありますか？  
 B：今後取り組んでみよと思う項目はありますか？



《その他・補足》

- ・非常食品および干物の在庫管理が忘れがち。
- ・頂き物は自分で消費できない場合、よその人等に分けてあげる。

問9 川崎市でフードドライブ（家庭から食べきれない未利用食品を持ち寄り、フードバンクを通じて食料を必要としている世帯等にお渡しする活動）を実施していることを知っていますか？



《その他・補足》

- ・知っているが、どこに未利用食品をもって行くのかわからない。
- ・知らなかったが興味があり、協力してみたい。

問10 あなたが普段実践している食品ロスを減らす工夫、もしくは、あなたが実践することで食品ロスを減らせるアイデアがありましたら、自由にご記入ください。

- 毎日買物を行っているので、必要以上の物は買わないようにしている。川崎駅周辺はスーパーが多いので選択することができる。※少人数家庭が多いため、少人数向けの販売を指導してほしい。
- 出来た食品を買うのではなく適量を自分で作るようにすれば良いのでは(忙しい人では大変ですが)家族全員が料理するようになればいいのに。学校で、料理の授業を男女問わず勉強してほしい。
- なるべくメニューを工夫して使い切る様にする。
- 基本的に必要な物、必要な時、必要な量だけ購入し、必要な量だけ作る。特にコンビニ、スーパーにイベント時(例えば Xmas ケーキ等)予約制として、売れ残品は出さない。期限が近くなったら在庫0にする販売方法で処分する。
- 食品を大袋で購入した時に、食べきれなくなった場合、近くに住んでいる子供達に食べてもらったり、近所の方に分けてロスのないように心がけています。
- 生鮮食品は安売りしていても食べられる量のみ購入している。冷蔵庫内の物を常に把握して買い物をする。
- 私は安いからとか、まとめて買っておこうという事をやめました。ロスを減らす工夫は何より個人の意識を変える事はけっこうむずかしいかもしれませんが、いろんな媒体があり SNS を通してもっと広告的な事をしていったらよいと思います。
- 物は大切にという考えに基づいています。料理は食べられる分量を作り、残った場合は次の食事で食べるようにしている。頂き物で食べない物は、できるだけ早く食べてくれる人にあげるようにしている。
- 食材を買いすぎない。多く買ったら冷凍しておく。買うものを決めてから買い物に行く。
- 大袋で大量に買わない。飽きたり、あると思ってたくさん食べてしまう。残り物がある時、家族に声をかけ早めに食べ切る。冷蔵庫の中で古くしてしまわないよう、整理を心がける。
- 生食品は余分に買わないこと。その分缶詰を買う様にしています。
- 買い物前に必要なものをメモする、食品在庫(災害用も含め)を把握する。
- すぐに食べきれなさそうな食品は下ごしらえして冷凍する。
- 料理に野菜を使うとき、根菜はよく洗って原則皮を捨てない。大根、人参、みつば等は水栽培をして新芽を味噌汁に使用する。
- 買い物に行く前に冷蔵庫の中の在庫をチェックして買い物リストを作って買い物に行くようにするだけでだいぶよけいな物を買わないで済むと思います。まず買いすぎない、作りすぎないことが大事だと思っています。
- 肉じゃが→残ったものはコロッケにしたり。
- 冷凍庫の活用。余ったら冷凍して廃棄を出さないようにする。食費の予算を立てて買物し、買いすぎを防ぐ。家計のためにも日々計画的な買い物を心がけている。

## 問 11 その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 健康志向と美食の風潮により、産地、品質の風評等から売れ残りが増えることが食品ロスとなる。消費あるいは賞味期限は廃止し、製造年月日に統一する案の方が無駄を省くものと思う。
- 料理番組などを見ていると材料などが沢山で料理に時間もかかる。もっと簡単に短時間で作れるものを広めて行ってほしい。もったいない、節約などは自分の為にやっていることだと思っていました。このことが世界の人々に影響するとは考えてもいませんでした。今までは食料品の添加物などを気にしてきましたが、もっと広く世界を見られるようになり、勉強させて頂いたことを感謝しています。勉強させて頂いたことを、他の人にも知らせてあげたいと思っています。消費生活サポーター講座に応募しました。ありがとうございました。
- もっと過ごしやすい、生活しやすい日々を送りたいです。色々考えると不安になったりしてしまいます。でも、がんばろうと思います。
- こんな豊かで物があふれている時代ですが、反面食べる事でさえ困っている人達がいるなんてと思います。現実のようです。いろんな事が研究されて日々の生活は便利になっていくのは良い事なのかもしれませんが、その陰では本当に食の面だけではないですが困っている人達がいる事をもっと考えていかなければいけないと思います。
- フードドライブが一般的に知られていないような気がする。広報誌・新聞などで知らせてはどうでしょうか。
- 廃棄処理量 TOP 10 の企業名を公表し、どうすれば少なくできるかアイデアを公募して、企業と共に行動する。
- コンビニスイーツを楽しみにしている方が多いと思いますが、消費期限直前に値引きをして売り切るようにしたらよいのでは？
- フードドライブを実施していることは知っていましたが実際に、具体的にどこに食べ物を持っていけばいいのかまではわからないので（後でちゃんと調べます）余った食品のある方でフードドライブに賛同していただける方はどこそまで食品をお持ちください！という告知なり情報があればフードドライブの取り組みが大きくなっていくように思います。なかなか人件費のこともあって難しいとは思いますがボランティアを募ってみたりして困っている人、特に子供に向けて、あと一歩できることがあるような気がします。（自分はまだ何もボランティアをしていないのにすみません）
- 少し重なる質問や記述が多かった様に感じました。法改正の内容などもアンケートにあるとよいと思いました。
- 生物等は現在より消費期限が少しでも長く出来るよう開発して頂きたいと思います。

